

平成27年度第1回石狩市行政改革懇話会

日 時：平成27年6月8日（月）13：00～

場 所：石狩市役所5階 第2委員会室

出席者：次のとおり

委 員			職 員	
役職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会長	角川 幸治	○	（事務局）総務部長	佐々木隆哉
副会長	永山 隆繁	○	（事務局）総務部行政管理課長	森本 栄樹
委員	能村久美子	○	（事務局）総務部職員担当主査	青木祐一郎
委員	藤沢 和恵	欠		
委員	松谷 初代	○		
委員	向井 邦弘	欠		
委員	柴田由美子	○		

【事務局～森本】

皆さま大変お疲れさまです。ただ今から、平成27年度第1回石狩市行政改革懇話会を開会いたします。

会議次第に従い進めてまいります。はじめに新任委員のご紹介です。これまで堀弘子さんが本懇話会の委員として参加されてきましたが、皆さまご承知のとおり石狩市議会選挙に立候補するため、本懇話会を辞退するという申し入れが4月にありました。そこで私も堀さんに代わり松谷初代さんに委員をお願いし、本日お越しいただきました。松谷さんは長く道内の小中学校の養護教諭を務められ、現在は法務省人権擁護委員を歴任されておられます。なお、任期は来年3月末までとなりますので、よろしくお願い致します。それでは松谷委員から一言いただきたいと存じます。

【松谷委員】

はじめまして松谷でございます。ずっと札幌市の方に勤務してきて、石狩市には寝に帰ってきておりました。仕事を退職しまして、第2の人生ではありませんが、石狩市のために少しでも活躍できることがあればと思い、今回引き受けさせていただきました。任期途中での交代ということで皆さまとは1年出遅れておりますので、わからないことがあろうかと思いますが、意欲だけはたくさんありますので、よろしくお願い致します。

<各委員、事務局あいさつ（記載省略）>

【事務局～森本】

この後の進行につきましては、角川会長にお願いしたいと思います。

【角川会長】

今年度の最初ですので、改めて少しお話しをさせていただきます。

昨年度は第4次計画の策定について委員の皆さまにはご尽力をいただき、改めてお礼申し上げます。前回の会議から数ヶ月経っていますので、かなり以前のことのように思われ、つい気も緩みがちですが、年度も替わりまして新たに松谷さんも加わりましたので、気持ちも新たに取り組みたいと思います。

また、4月、5月には道議選、市議選、市長選が行われまして、田岡市長が5期目の当選をされました。引き続き、私たちも前回、前々回のことも踏まえながら提言させていただきますし、同じ市長ですので積極的にそれを取り入れて採用してくれるのではないかと期待しております。メンバーが一人入れ替わりましたが、気持ちを新たに再スタートを切りたいと思っていますので、一年間どうぞよろしくお願いします。

新しい委員が加わりましたので、改めて懇話会活動についての基本的な考え方を再確認させていただきます。

第1に「石狩市行政改革 2016」の趣旨に従い「ローリングプラン方式」により、実施計画の最終年度となる「第5次実施計画」の検討を今年度進めることになります。「ローリングプラン方式」とは複数年度にまたがる中長期的な計画を策定することです。検討の内容としては、第4次実施計画の第2プール及び第3プールに挙げられている事項の第1プールへの移行、言い換えますとそれらの具体化に向けての意見交換であります。さらには、第5次実施計画に新しく加えるものや修正あるいは削除すべき事項について懇話会としての意見を述べることになります。

第2には、これも従来からの考え方で変わりありませんが、市長をトップとする庁内の行政改革本部会議と本懇話会が一方通行で終わることなく、それぞれの立場から意見や検討を交えながら、より適切な実施計画の策定に結びつくように努力して参りたいと考えております。

それでは会議次第に従いまして、はじめに前期の懇話会活動を振り返るためにまとめた資料が示されておりますので、第4次実施計画も含めて事務局から説明をお願いします。

【事務局～青木】

私からは前期の懇話会活動と第4次実施計画について簡単にご説明いたします。

その前に、松谷委員が新たに加わっていただきましたので、石狩市の行政改革の全体像について簡単にご説明致します。

お手元にお配りしました「石狩市行政改革 2016」が平成24年度に策定した大綱です。

3つの基本目標を推進する5ヵ年計画です。

懇話会の位置づけは、9ページにあるとおり、計画の推進およびローリングについて審議し、提言をいただくことです。また、具体的な実施事項については、もう一冊お配りしている「実施計画」で単年度ごとに実施することを挙げており、来年度が最終の5年目です。大綱と同じく5ヵ年計画になっています。

では、別紙1にある前期の「主な検討事項」ですが、前期の検討事項が2つありました。

1つめが「行政改革2016」の中間評価の実施です。大綱の8ページにも「中間評価の実施」と掲載しています。5ヵ年計画の前半3年間を振り返り、後半になる今年度と来年度の実施に繋げていくために一旦、中間評価を行いました。実施したものには「実施」、全部は終わっていないが着手はしたものは「一部実施」と評価しましたが、わかりにくいというご意見もいただきましたので、取り組みに応じた表記を検討するとか、100%終わったものについても次の展開を模索するような形で中間評価をまとめてみました。

2つめが第4次実施計画への委員提案です。昨年度、この行政改革懇話会のほかに、毎月のように懇話会外でA班とB班に分かれてお集まりいただき、忌憚のない意見交換を行いながら提案をまとめていただきました。A班は角川会長がリーダーとなり3つの柱のうち主に「PPP・協働の推進」、あわせて「健全な財政基盤の構築」について、B班は永山副会長がリーダーとなり「市役所イノベーション」を主に検討していただき、さらに「健全な財政基盤の構築」についても検討していただきました。

次に、昨年度の懇話会の開催状況ですが、第1回が今任期の最初の回でしたので、市長からご挨拶を申し上げて、会長と副会長を選出し、年度内の進め方を決めました。9月に開催した第2回は市の財政部局が策定した「公共施設等総合管理計画」にご意見をいただきました。第3回は中間評価の案をお示しし、それに対するご意見をいただき、また、第1回にお願いしました、それぞれの班からの提案をいただきました。第4回では中間評価の最終案をお示しして、あわせて、第3次実施計画の進捗状況、提案を受けての第4次実施計画の案をお示しして、ご意見をいただきました。3月の第5回では懇話会報告書を審議していただき、その報告書をもって行政改革推進本部会議に諮り、最終的に実施計画が策定されました。

最後に第4次実施計画についてですが、実施計画の冊子をご覧ください。計画はローリング方式をとっています。3つの柱についてそれぞれ第1プールから第3プールと区分されています。第1プールは今年度すぐに実施する区分です。第2プールは今年度に検討して次年度に実施する区分です。第3プールは今年度すぐに実施する項目はありませんが、継続的に検討して何かあれば第2プール、第1プールに上がっていく項目を検出する区分です。その表に24・25・26・27・28と書いてあるのが実施する年度になります。赤色がついているのが今年度新たにに取り組むものです。今年度は28年度に新たに項目を入れるなり、ここにあるものを修正するなりご検討をいただくことになります。以上です。

【角川会長】

ありがとうございました。何かご質問はございますか。

なければ、27年度の進め方に移ります。別紙2をご覧ください。

昨年度、A班、B班の委員会に分かれて話し合いをしまして、かなり回数も重ね、いろいろなご意見をいただいた印象があります。懇話会だけであれば年間4～5回で、そこで本音の話ができるかといえ、なかなか難しい部分もあり、この委員会制を取り入れたのですが、懇話会に向けてしっかり準備する、準備段階の会合という意味合いもありました。今年度もこのグループ編成を踏襲したいと思っています。班の構成員はシャッフルして新たな気持ちで行うことができればと思います。予め事務局とは打ち合わせをしております、詳細は事務局から説明がありますが、この内容で皆さまにご承諾いただければ、今年度の懇話会をスタートさせたいと考えておりますが、いかがですか。よろしいですか。

それでは、その部分の詳細について事務局よりご説明をお願いします。

【事務局～青木】

今年度の取り組みについて、別紙2でご説明致します。

昨年と同様、今年度も2つの班に分かれていただき、第2、第3プールから新たに検討できる事項の掘り起こしや、新たな実施事項の可能性についてご検討いただいて、最終年度である第5次実施計画のヒントになるようなご提案をいただければと考えています。最終的に提案していただく形式については、昨年と同様、懇話会でご提言いただき、それを議事録としてまとめさせていただき、庁内で検討させていただく形で考えています。

2つの班については、A班は角川会長、向井委員、柴田委員、松谷委員、B班は永山副会長、能村委員、藤沢委員で編成させていただきました。A班は広いテーマですが「市の協働推進について」を検討してご提案いただきたいと思います。B班は「市の業務改善について」を検討していただくことでよろしくをお願いします。それぞれの班の中で意見交換していただくことになります。

もう一つお願いしたいテーマがあります。来年度が本大綱の最終年度になりますし、その次の年度から新しい大綱が始まることから、次期行政改革大綱に繋がる考え方について併せてご提案いただければと考えています。今回の大綱は3つの柱、基本目標を掲げていますが、今後もそのままいくのか、その他、次期大綱のヒントになるような部分についてご提案いただければと考えています。

検討にあたっては、昨年度も私がそれぞれの班に参加させていただきました。今年度も参加させていただければ、市役所の細かな事務について確認が必要であったり、こういうことについて過去に庁内で検討された経緯があるのか、あるいは方向性としてどうなのかなど、委員の皆さまから様々な問い合わせがあらうかと思っておりますので、事務局から情報提供をさせていただきたいと考えています。打ち合わせの会場についても、市役所の会議室

を使っただいて構いません。

最後にスケジュールについてですが、本日の第1回のあと、各班でご検討いただいた部分を10月の第2回でご提案いただき、それを受けて2月に第5次実施計画をお示しして意見交換をしていただき、それ以降3月末までに懇話会の報告書を頂戴したうえで、最終的に行政改革推進本部で第5次実施計画を決定するという流れで考えています。

以上です。

【角川会長】

ありがとうございます。

委員会についてですが、昨年度の個別の委員会の取り組みが良好だったと、さきほど申し上げましたが、できれば月1回以上そのような場を設けたいと思います。私と永山副会長でお話しをした際にも、私からそう申し上げました。6月の懇話会が本日で次回が10月ですので、月1回だと7月、8月、9月と3回委員会が開催できます。それで足りなければ追加していただいて構いません。そのように進めていけば、その次の懇話会が2月なので10月以降も11月、12月、1月と3回できることになりますので、そのようにしたいと思います。それと、会議の内容は議事録にまとめていただいているのですが、市役所の方々は非常に議事録を読んでいるとあらためて思います。会議が役立っている実感があります。それと、事務局からの情報提供ですが、せっかくですから委員会の中で何かあれば、また普段の取り組みの中で疑問などがあれば、電話でもメールでも、これはどのようになっているか、過去のデータはどうか、など質問していただきたいと思います。私自身も今年度は積極的に訊いていきたいと思っています。昨年度までは堀委員さんが結構質問をされていました。では、今年度の進め方で何かご意見はありますか。

【永山副会長】

今年度の大まかな基本方向といいますか、そのあたりを意見交換しておいてはどうかと思います。現在の市役所の行政改革というところから、次の行政に向けての改革ということになると、必然的に市民サービス、市民目線での改革に繋がっていくのではないかと思いますので、そのような視点でそれぞれの課題に取り組んでいってはどうかと思います。個別の課題はいろいろあると思いますが。

【角川会長】

基本的な方向性ということを議論するのは次回からになるかと思いますが、永山さんがおっしゃった市民目線での改革をより深く進めるということは、今年度さらに来年度からの取り組みに積極的に活かしていきたいですね。

松谷さんは初めてのご参加ですが、何か思ったこと、感じたことはありますか。

【松谷委員】

本日はひたすら資料を読んで勉強させていただきたいと思っています。

【角川会長】

わかりました。検討事項（２）ですが、次期行政改革大綱に繋がる考え方、ヒントの委員提案も今年度やることとしてあります。５ヶ年計画の最終年度ということで今年度は過去４年間で踏まえながら総まとめという部分もあります。また、次の５年間も考えながらになります。５年間ですから、かなり時代が移り変わっていく状況です。大綱の３つの基本目標「ＰＰＰ・協働の推進」「市役所イノベーション」「健全な財政基盤の構築」は目標として完成されていると思います。ただ、これが今年１年と次期５年が過ぎた６年後に果たして適合しているかという、今の段階ではわかりません。そのあたりも踏まえながら、委員からのヒントとしていろいろとご意見をいただきたい。さきほど永山さんがおっしゃった市民目線での改革というのも大綱の１つに入るかもしれません。

【永山副会長】

最近、知事選があったり、札幌市はトップが代わったりで、道政、市政をどうするかについていろいろ語られていますが、私もそういうものを読みまして、石狩でも考えなければいけないのではと思っています。というのは、委員会でも問題になりましたが、若者の移住の問題です。若い漁業、農業従事者の育成や、どうやって市内への移住を進めていくかということになると子育て支援、そういったことも大綱になってくるのではと思います。また、もう一つ差し迫った問題として出てくるのはマイナンバー制度のことで、これは全体に関わってきますので触れていく必要があるのではと思います。それと、昨年から話題になっていて、私が気になっているのが時間外勤務の削減です。道庁では目標を立てて取り組んでいるという話が出ていました。これも石狩ではどうかということをやっていく必要があると思います。

【角川会長】

ありがとうございます。別の会合になりますが、総合計画審議会に私も関わるようになりまして、そちらでも石狩市の人口減少の問題が大きくクローズアップされており、特に若者が離れていっている現状があり、これを何とか食い止めなければということで意見交換がされています。かなり本腰を入れて考えていかないと手遅れになります。子育て支援に関しては、プライベートなことで恐縮ですが、私には４歳と０歳の子がいて石狩市は手厚い、きめ細かい対応をしている印象があります。それをさらに推進していけばいいのではないかと思います。少子高齢化に伴い子ども自体が少ないので、そのあたりのことについても具体的にご意見が出るといいのですが。また、マイナンバー制度も差し迫った問題なので、そのあたりもお話しできればと思います。

【能村委員】

永山さんのお話しで、このあと何を話していけばいいのか見えてきて、とても助かったと思いました。今のようなポイントで話しを進めていけばいいのでしょうかね。さきほど会長がおっしゃっていた方向性など確認できるころはして、そうすると7月以降の各班の会議がぶれることなく、成果が多くなると思います。そのあたりで事務局側の考えや思いはあるのでしょうか。

【事務局～森本課長】

永山さんが言われたように移住施策やマイナンバー制度、時間外勤務の削減について、今まで行政改革懇話会で出された意見も含め課題が挙げられていたと思います。私たちも次期大綱に繋がるヒントをいただきたいと考えているのですが、いきなりこの3つの基本目標はどうですかという話しをしても、すぐには議論が煮詰まっていけない面もありますので、話しやすいところから話していくと必然的にどういうことが行政に求められていて、こういう改革をしなければならないという話しに繋がると思います。手掛かりとしてはそういうところからお話しされるのがいいのではないかと思います。永山さんが言われた市民目線の行政改革、そのあたりのお話しされると、どういう柱がいいのか必然的に見えてくるのではないかと思いますので、そのような形でお願いできればと考えています。

【角川会長】

各班の検討を重視したいということを再三申し上げております。A班は3つの基本目標のうち「PPP・協働の推進」が主なもの、B班は「市役所イノベーション」「健全な財政基盤の構築」の部分が主なものになりますが、それにこだわることなく自由議論がされてもいいと思います。次の大綱のことも含めて自由な意見交換ができる場にしたいと思ひますし、懇話会の方はある程度まとめたものをきちっとお話ししていくことになりますが、班の方は昨年度以上に重視したいと思っていますのでよろしくお願いします。

柴田さんは松谷さんとともに人権擁護委員をされていますが、そういった関係からでも何かあればどうぞ。

【松谷委員】

石狩では小学校の人権教室が盛んに行われています。厚田小、生振小、八幡小は子どもたちが少人数で、だからこそだと思ひのですが、子どもたちがよく育っているのです。先日、厚田小で1年生を対象にいじめをテーマにした教室をやりましたが、子どもたちが勇気を持って「いじめはやめろよ」と言っているのです。建前でそう言うことはありますが、この子たちは本当にそう思っていると思ひ担任の先生がおっしゃっていました。いじめの場面に遭遇したら君たちはどうするのかという選択をした際の答えは、1つは勇気を持って「や

めろよ」と言う、もう1つは大人や先生を呼んでくる、でした。だから、少人数のせいか、子どもと先生の関係がよくできており、子どもたちが自信を持って自分の意見を言えるのです。そういう小規模校ならではの良さを感じつつも、この子たちがずっと少人数の中で6年生、中学校まで過ごして、急に大きな集団に入った時にこの良さを続けていけるのか、ずっと活かしてあげたいと感じています。また、ほとんどの学校で授業時数確保、学力向上が至上命令になっているというか、全国と比べると石狩は学力が低いようです。そういった中で授業時数確保が至上命令にも関わらず、ほとんどの学校で人権教室が開催されていることは大事なことだと思っていて、何校かある未実施の学校に私たちも入って行って、さらなる子どもたちの人権意識の高まり、できればそれが子どもから親へと繋がっていければいいと考えています。また、中学校で人権教室がなかなか実施されていないので、校長先生にご挨拶にいった時に、ぜひ中学校でもご検討くださいとお願いしました。私たちは弁護士を中心とした人権教室の講師団をつくっていますので、そのこともお話ししてきました。

【柴田委員】

若者の移住のお話がありましたが、厚田、浜益では地域おこし協力隊として2名ずつ若い方が活動しています。

【角川会長】

松谷さんがおっしゃった教育の問題というのは、一見するとこの懇話会のテーマとしてどうかと感ずるかもしれませんが、そんなことはないと思います。子育てから教育、そしていじめのことも市としてどの程度取り組んでいけるのか、ということをお話しいただいて構わないと思います。委員会を中心に今のような話しをできればと思っていますので、よろしくお願いします。他はよろしいですか。では、今年度はこのような形で進めていきたいと思っています。ぜひ今のように率直な意見、感想でも構いませんので、ご意見をいただきたいと思っています。それでは、その他に事務局から何かありますでしょうか。

【事務局～青木】

次回の懇話会の開催日時については、角川会長をはじめ皆さんと相談しながら決めさせていただきます。質問等がありましたら逐一お寄せいただければと思います。よろしくお願いします。

【角川会長】

以上でよろしければ、第1回の行政改革懇話会を終了致します。今日はどうもありがとうございました。お疲れさまでした。

(閉会)

平成 27 年 6 月 24 日 議事録確定

石狩市行政改革懇話会 会長 角川 幸治